

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	看護学概論	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	16 時間(単位)
対 象 学 年	1学年	学期及び曜時限	前期	教室名	本館2階
担 当 教 員	松岡 清子	実務経験とその関連資格	国立京都病院、兵庫中央病院等で計21年勤務 看護師		

《授業科目における学習内容》

看護の基礎となる科目としてその主要概念である「人間」「健康」「環境」「看護」について探求することをねらいとする。看護の基本となる概念や看護の変遷から看護とはなにかを学び、専門職としての看護の機能・役割を、保健・医療・福祉の広い視野で捉え、看護が人々の健康のために果たす意義について理解する。また、看護の対象である人間を多角的に理解する姿勢を養うとともに、専門職業人として必要な倫理的姿勢について考える。

筆記試験

《使用教材(教科書)及び参考図書》

ナーシンググラフィカ 基礎看護学① 看護学概論 メディカ出版

《授業外における学習方法》

指定した教科書を事前に読んでおくこと
前回授業内容について復習しておくこと

《履修に当たっての留意点》

看護学の基礎となる科目です。看護の主要概念である人間について、健康についての理解を深めましょう

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回 講義形式	授業を通じての到達目標	看護の対象である人間のこころとからだについて説明できる	教科書 資料	
	各コマにおける授業予定	1. 看護の対象とは 2. 統合体としての人間 3. 生物学的存在として人間 4. 人間のこころの理解		
第2回 演習形式	授業を通じての到達目標	看護の対象である人間を発達の側面、生活者としての側面から説明できる	教科書 資料	
	各コマにおける授業予定	1. 生涯発達しつづける存在としての人間 2. 人間の生活(暮らし)の理解 3. 看護の対象としての家族、集団、地域		
第3回 講義形式	授業を通じての到達目標	看護理論家の人間のとらえ方を説明できる	教科書 資料	
	各コマにおける授業予定	1. 看護理論家たちの人間の捉え方・ ・ヘンダーソンのニード論 ・ロイの適応理論 ・オレムのセルフケア理論 2. 基本的ニードの充足状況		
第4回 講義形式	授業を通じての到達目標	健康とはなにかを説明できる	教科書 資料	
	各コマにおける授業予定	1. 健康とはなにか 2. 障害とは 3. 健康の推進 4. 健康と生活の関連		
第5回 講義形式	授業を通じての到達目標	保健統計から国民の健康について説明することができる	教科書 資料	
	各コマにおける授業予定	1. 医療をとりまく社会状況 2. 健康状態と受療状況 3. 国民のライフサイクル		

